

困った時の相談窓口

【篠山市内】

相談の内容	相談窓口	電話	時間	その他
人権相談 女性のための悩み相談	人権推進課 (第2庁舎 1階)	552-6926	9:00~ 17:00	
総合生活相談	畑ふれあい館	552-4401	8:45 ~ 17:15	身近な相談窓口として、人権や生活上のさまざまな相談をお聞きします。必要に応じて関係機関へつなぎます。 月~金曜日 (祝日・年末年始を除く)
	日置ふれあい館	556-2850		
	西紀ふれあい館	593-0093		
	味間ふれあい館	594-1003		
	古市ふれあい館	594-1001		
ふくし総合相談窓口	長寿福祉課 社会福祉課	554-2511	8:30 ~ 17:15	どこに相談すれば良いのかわからない等、どんなささいなことでも結構です

【兵庫県男女共同参画センター】

種類	相談方法	電話番号等	実施日時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話(直通)	078-360-8551	月~土曜日	9:30~12:00 13:00~16:30
	面接(要予約)	078-360-8554	月~金曜日 土曜日	11:00~18:40 9:20~16:50
法律相談(女性弁護士)	面接のみ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2水曜日(原則)	
男性のための相談 (男性臨床心理士)	電話	078-360-8553	毎月第1・3火曜日	17:00~19:00
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話・面接 (要予約)	078-360-8554	毎月第1~4木曜日	10:00~13:00
情報相談(情報アドバイザー)	電話(直通)	078-360-8557	月~土曜日	9:00~17:00
不妊・不育専門相談 (助産師等)	電話(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日	10:00~16:00
	面接(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日	14:00~17:00
思いがけない妊娠(SOS) (助産師)	電話(直通)	078-351-3400	月曜日と金曜日	10:00~16:00
	メール相談 http://ninshinsos-sodan.com		随時受け付け 返信は原則として1週間以内	

【その他(DV等)】

相談先	電話番号	実施日時等
兵庫県立女性家庭センター (兵庫県配偶者暴力相談支援センター)	078-732-7700	毎日9:00~21:00 緊急時は24時間対応しています
兵庫県警察本部 ストーカー・DV相談	078-371-7830	毎日 24時間
神戸地方方法務局女性の人権ホットライン	0570-070-810	月~金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:00~16:00

【問い合わせ先】

篠山市市民生活部人権推進課
電話番号：079-552-6926 FAX：079-554-2332
Eメール：jinken_div@city.sasayama.hyogo.jp

篠山市男女共同参画センター情報紙

フィフティだより

～一人ひとりが輝く社会をめざして～

第43号 平成31年3月

Sasayama City
Gender Equality Center



【発行】
〒669-2397 兵庫県篠山市北新町41
篠山市役所第2庁舎1階
篠山市市民生活部人権推進課
電話：079-552-6926
FAX：079-554-2332

「ともに暮らす」を考えよう ～家庭と地域の男女共同参画から～

3月16日(土)に、mottoひょうご 事務局長の栗木剛さんを講師にお迎えし、篠山市男女共同参画研修会、第2回篠山市人権講演会としてみだしの内容でお話していただきました。



道の駅や高速道路のサービスエリアなどのトイレって、いつも女性用ばかりが混んでいますが、どうしてか考えてみたことのある方はいらっしゃるでしょうか。

女性は、男性よりトイレの利用時間が2倍から3倍長いと言われています。最近新しくできた建物では、女性用のトイレの方が面積を広くとってありますが、これまでの建物では、男女のトイレは同じ面積で建てられていることが多かったように感じます。

これでは、面積の上では男女は平等であっても、利便性の平等にはなっていません。では、このようなことが分かっているながら長い間解消されてこなかったのはなぜでしょうか。

建物を新たに建てるには、設計する必要がありますが、設計をする人は多くが男性です。また、公共の建築物を建てる際に、どのようなものを作るのかを決めたり審議したりする立場の人もほとんどが男性です。建築士や指導的地位など、決定機関に女性がいれば「トイレの行列大変やねん」ということも伝えられるのではないのでしょうか。

日常生活で、男女が互いのことに興味をもち、互いの気が付かない部分を伝えあう、お互いに理解を深めていくということが男女共同参画につながります。

「自分には関係がないし、そんなことは知らないからもういいやん」というのはダメです。自分がしてもらってうれしいことを、自分が先に人にする。自分がされたいやなことには人にしない。人権を大切にすることは、相手の気持ちに寄り添うということからはじまります。



篠山市の女性の公職参加状況(平成30年4月1日時点)

- 市議会議員定数18人、うち女性議員4人、割合22.2%(22.2%)
- 審議会等委員総数1109人、うち女性委員数251人、割合22.6%(23.2%)
- 市職員のうち管理職73人、うち女性管理職11人、割合15.1%(16.4%)
(カッコ内は昨年度の割合)

【篠山市目標値】

審議会等 30%(平成33年度) 市職員管理職 20%(平成32年度)

政治分野における男女共同参画

～男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指して～



平成30年5月23日に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が公布・施行されました。この法律は、衆議院、参議院及び地方議会の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指すことなどを基本原則とし、国・地方公共団体の責務や、政党等が所属する男女のそれぞれの公職の候補者の数について目標を定める等、自主的に取り組むよう努めることなどを定めています。

どうしてこのような法律ができたのでしょうか。

1997年列国議会同盟による「民主主義に関する普遍的宣言」には、「民主主義の確立のためには、男女がその違いから生まれる互いの長所を生かし、平等に、かつ補い合いながら機能する、社会の営みにおける男女の真のパートナーシップが前提となる」とされています。

しかし日本の現状は、国民が男女半々であるにもかかわらず議会の場に女性が少ない「過少代表」ともいえる状況であり、諸外国との格差が大きい状況にあります。

では議会に女性が参画することでどのように変化していくのでしょうか。2012年に朝日新聞等が行った調査によると、

男性議員が重視する政策は、

- ①外交・安全保障、②雇用・就職、③年金・医療。
- 対して女性は、①震災復興・防災、②教育・子育て
- ③雇用・就職であり、原発についても男性より女性の方が反対姿勢が強いということです。



女性が政策決定の場へ参画し、女性の関心度合いが高い政策について議会の場で議論することで、多様な考え方が政策に反映され、施策の充実につながります。私たちが抱える様々な困難や制約が、社会の課題として認識され、解決のための取り組みが行われるよう女性の参画拡大がますます求められています。

世界の女性議員比率

＜世界平均＞ 下院又は一院 23.8%
上院 23.9%

国名	順位	割合
スウェーデン	8	43.6
ノルウェー	13	41.4
フランス	16	39.0
イギリス	41	32.0
ドイツ	46	30.7
アメリカ	102	19.5
韓国	117	17.0
日本	158	10.1

二院制の場合は下院（日本は衆議院）2018年6月現在

人と人とのより良い関係をつくっていくために

DVは特殊な家庭だけに起こる問題ではありません

女性の約3人に1人、男性の約5人に1人は、配偶者（事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含む）からこれまでに暴力を受けたことがあり、女性の7人に1人は何度も受けています。DVとは夫婦や恋人、パートナー等親密な関係にあるふたりの間でふるわれる暴力のことを指します。暴力は「安心」「自信」「自由」といった人間らしく生きる権利を奪うもので、殴る・蹴るなど身体的なものだけでなく、心理的、性的、経済的、社会的なものもあります。



- 身体的暴力…殴る、蹴る、引きずりまわす、物を投げつけるなど
- 心理的暴力…大声で怒鳴る、罵る、脅す、無視する、監視するなど
- 性的暴力…性行為を強要する、避妊に協力しないなど
- 経済的暴力…生活費を渡さない、働きに行かせない、借金をする・させるなど
- 社会的暴力…行動の制限、友人に会わせない、無断でメールチェックするなど

では、「喧嘩」と「DV」はどう違うのでしょうか。

喧嘩は対等な関係の中で起こるものです。DVは「支配」と「服従」の関係の中で起こります。一方がいつも相手に気を使い、言いたいことも言えず、逆らえず、言われるがままになってしまいます。

「お前が悪いから仕方がなかった」など、暴力の原因を被害者のせいにするのがよくありますが、如何なることがあっても許されるものではありません。納得のいかないことは暴力ではなく



言葉で思いや考えを伝えることが大切です。人は誰もが生まれながらにして大切にされるべき存在です。暴力をふるわれてもいい人など一人もいません。自分を大切にしたい気持ちをしっかり持って、同じように相手や人のことも大切にしましょう。自分の意見を押し付けるのではなく、それぞれに違いがあることを認めるとともに受け入れ、自分は思うのか、言葉で伝えましょう。

自分自身のことを大切にしながら、自分以外の人も大切にすることで、より良い人間関係が築けるのではないのでしょうか。

DVチェックシート - あなたが【怖い】と感じたらそれはDVといえます -

<input type="checkbox"/> うまくいかないことがあると、すぐ私のせいにする	<input type="checkbox"/> 相手に怒られるのがいやで、言うことを聞いてしまう
<input type="checkbox"/> 私が一人で外出すると、しょっちゅう携帯に連絡してくる	<input type="checkbox"/> 相手と会話がしたくても、非難されたり、無視されたりする
<input type="checkbox"/> 私が友人や両親と交際するのを嫌がる	<input type="checkbox"/> ついつい相手好みの洋服を選んでしまう
<input type="checkbox"/> 私の帰宅が遅くなると怒る	<input type="checkbox"/> 人前でも平気で私の欠点を指摘する
<input type="checkbox"/> 私に「バカ」とか「能無し」とか言う	<input type="checkbox"/> かんしゃくを起すと壁を殴ったり物を投げたりする
<input type="checkbox"/> いつも相手の機嫌を損ねないように気を配っている	<input type="checkbox"/> 相手は、私の気分などお構いなしにセックスを求める

※ 一つでもチェックが付いたらDVの可能性がります。